

特集

芸能・文化が育む協同とまちづくり

2008年6月、日本労働者協同組合（ワーカーズコープ）連合会第29回総会の際において、株式会社わらび座の準加盟が正式承認された。労協連とわらび座との関係は古く、互いに中高年雇用福祉事業団、民族歌舞団わらび座の時代にまでさかのぼる。

直接の出会いのきっかけは、1986年に行われた協同集会プレ企画「協同組合ネットワークをめぐす交流集会」であった。当時、互いのミッションに共鳴し合い、社会変革のための行動をとるに、いくなればともに一つのエポックを画した仲間といえよう。

協同総研設立時も故、菅野正純理事長とともに「仕事の発見」創刊にあたり、さまざまなご協力をいただいた。

しかし、それぞれ異なるコア事業や両組織ともに大きな成長期に入ったことで、自然と距離ができたまま20年近くの時が流れた。わらび座は秋田県たざわこ芸術村を拠点にミュージカル文化事業を軸として複合的に事業を展開し、また労協連はセンター事業団を設立し、地域福祉事業所を全国に展開し、草の根的にまちづくりを進めていく。そして長い時を経て、是永幹夫氏（わらび座代表）と永戸祐三センター事業団理事長が偶然の再会を果たし、瞬く間に今回の加盟へと至った。この時期における再

会が意味するものは大きい。

特筆すべきは、互いの組織がそれぞれのミッションをぶれることなく、両者が大きく成長したことである。特に、近年のわらび座の展開はめざましいものがあり、これほど大きく成長さしえた芸能・文化とはいったい何なのか、その思いをもとに今号では「芸能・文化」を特集した。

日本の文化政策をみると、世界的な大不況といわれる中で2009年度の文化庁予算案では、予算額は前年度に比べ0.3%増しの1,020億1,200万円とされている。しかし、内訳を見れば芸術活動や人材育成の助成は削減されており、美術館、音楽・劇場、博物館といった文化施設の運営交付金は公益法人制度改革や指定管理者制度の導入などによりすべて減額され、芸術団体や関連施設などのさらなる経営困難が予想される。しかし国はこうした厳しい財政状況にあらうとも公共財である文化を将来への投資として捉え、長期的な文化政策をとり、人材育成に努める必要があるのではないだろうか。

文化が有する力とは経済的側面に留まらず、私たちの人間的成長から福祉社会の創造に至るまで影響を及ぼすものである。私たちは、文化の源である想像力を介して他者の心理を推察し、共有することから倫理

的、道徳的な効果を得ている。これは、人と人との関係や協同・共生といったコミュニティの基盤を形成する。文化には人を育成し、絆を結び、コミュニティを創る力があると言える。

その具体的な手段が芸能である。芸能は、私たちにとってより身近なものとして存在し、それぞれの地域で住民たち自身がその担い手となり、継承し、保存してきた背景がある。地域の担い手づくりや地域再生を考える上でも重要なファクターと言える。

2008年8月2日に行った是永幹夫氏(わらび座代表)の研究会では、地域に拠点を置く文化的事業体として、50年以上に及ぶ

わらび座の実践から文化が果たす本質的な役割とともに各地の住民主体のまちづくりや自治体との協働事業による文化振興について多くのことが学ばれた。

また、滋賀の取組みを参考に、劇団銅鑼の協力を得て千葉県芝山町で展開している「労協若者自立塾」での演劇ワークショップや上演活動からは、塾生たちの成長や変化が生まれ、それはその演劇を観た者に少なからぬ感動を与えている。

各地の文化的取組みには、まちづくりや人間の成長に関するヒントが多数あり、また同時に、現在の文化政策のあり方をもう一度考え直す契機となるであろう(編集部)。



社会連帯フォーラム「労協若者自立塾」 演劇公演 Believe ～労協若者自立塾の挑戦～

演劇ワークショップの取組みから 育んだものとは

2009年1月10日、ワーカーズコープと社会連帯委員会による「第3回全国つながり(社会連帯)フォーラム in 東京 若者たちの未来と社会の再生」がヤクルトホールにて開催され、450名が参加した(協同総研共催)。そのオープニングには前年6月の労協連総会で披露された労協若者自立塾の演劇「Believe ～労協若者自立塾の挑戦～」が再演され、多くの人に感動を与えるとともに、協同労働が若者の今と未来を取り戻していく重要な営みであることを参加者に印象づけた(労協若者自立塾ではヘルパー講座と演劇ワークショップを用い特徴的なカリキュラムを組んでおり、日頃からワークショップにご協力いただいている劇団「銅鑼」にオリジナルの脚本(塾での実際のエピソードが素材)を制作していただいている)。

ここでは、演劇ワークショップや上演など活動を通しての塾生の変化や成長などについて、当事者、スタッフ及び劇団銅鑼の方々から報告をいただいた。